

山形大学校友会専門委員会（第30回）議事録（案・未定稿）

令和元年 2月 5日（水）
15時00分 ～ 16時10分
山形大学法人本部棟役員会議室

（出席者）

委員長：野村一芳

委員：佐藤圓治、齋藤博行、大場好弘、藤田洋治、小坂哲夫、松田友美

（列席者）

高橋 EM 部長

樋口校友会事務局長、鈴木校友会事務局次長、江口校友会事務専門職員

1 大学院学生表彰者（校友会長賞）の決定について

委員長から本件の提案があり、大学院学生表彰の推薦状況や表彰基準、被表彰者の決定までの手順等について資料 1-1 及び参考資料 3、4 に基づき説明があった。

次いで事務局から、次の 2 点について補足説明があった。

①昨年度の推薦に文系研究科からの推薦者がなかったことを受け、推薦資料（参考資料 3）の項目に⑦地方公共団体等、地域団体との連携活動（過去 5 年以内）及び⑧芸術・文化活動（過去 5 年以内）を追加したが推薦者はなかった。

② 19 名の推薦者のうち 14 名を選定するにあたり、小数点以下の端数と各研究からの優先順位を考慮した

種々審議の結果、委員長から、推薦者 14 名（No. 1、2、4、5、6、9、10、11、12、13、14、15、16、17）を大学院学生表彰受賞者として決定したい旨提案があり、承認された。

なお、次回以降、文系研究科には推薦項目が追加になった旨を丁寧に説明することとなった。

また、事務局から、表彰は「校友会長賞」として資料 1-2 の表彰状と奨励記念品（金 5 万円）を贈呈することとし、表彰状授与式を 2 月 17 日開催の校友会理事会終了後に執り行う旨説明があり、了承された。

2 令和元年度校友会支援事業の進捗状況について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「令和元年度実施事業進捗状況一覧」、「事業実施報告書及び事業進捗状況報告書（机上配付）」、「令和元年度収支決算見込み」について資料 2 及び資料 3 に基づき説明があった。

次いで、事務局から、次の 2 点について補足説明があった。

①使用済額が 0 円になっている事業についても 1 月 9 日以降進捗しているものがあり、理事会には 1 月末日現在で提案したい。

②「校友会会員となった新生へへの入会記念品の贈呈（No23）」については、朝食券へ引換率が 7.67 %、図書カードへの引換率が 27.60 %、全体でも 35.27 %と低く、所期の目的を達成していないため、新生全員に「マイ箸」を配付することを提案したい（校友会学生幹事からの意見。予算額は今年度比 20 万増程度）。

種々審議の結果、委員長から、本件について各事業の進捗状況及び収支決算見込みとして2月17日開催の校友会理事会に報告したい旨提案があり、了承された。

3 令和2年度校友会支援事業の基本方針等について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「令和2年度予算概要（イメージ）」、「校友会として支援する令和2年度事業の基本方針」及び「令和2年度校友会支援事業の申請書様式（案）」について資料4、資料5及び資料6に基づき説明があった。

種々審議の結果、委員長から本件について諮られた結果、了承され、2月17日開催の校友会理事会へ提案することになった。

4 その他

委員長から次の2項目を報告したい旨発言があり、事務局から説明があった。

(1) 山形大学OB会を校友会賛助会員に加える件について

昨年の山形大学OB会総会で本会賛助会員に加入したい旨議決されたので次回理事会に諮ることとした。

(2) 「令和元年度（第15回）山形大学OB&OGセミナーの開催について

次回の校友会理事会に報告することとした。

(3) その他

今年度末で山形大学理事・副学長を退任する大場委員から挨拶並びに謝辞が述べられた。

以上